

平成27年度 佐久市の財務諸表(普通会計)

《普通会計(4会計)》 ・一般会計 ・障害者支援施設臼田学園会計 ・住宅新築資金等貸付事業会計 ・奨学資金会計

貸借対照表

住民サービスを提供するために保有している佐久市の土地、建物や現金等の財産(資産)と、その資産をどのような財源(負債・純資産)で賄ってきたかを対照表示したもの

借方(現在有する資産)	貸方(資産の調達財源)
【資産の部】(将来の世代に残る財産の金額)	【負債の部】(将来の世代が負担する金額)
1 公共資産 (道路、公園、学校、庁舎など) 2,009億87百万円	1 固定負債 (地方債や将来の職員の退職金など) 508億 1百万円
2 投資等 (基金、貸付金、出資金など) 251億62百万円	2 流動負債 (地方債翌年度償還額、賞与引当金など) 100億 8百万円
3 流動資産 (現金預金、財政調整基金、市税未収金など) 146億57百万円	負債合計 <u>608億 9百万円</u>
うち、歳計現金 17億 9百万円	【純資産の部】(これまでの世代が負担した金額)
資産合計 2,408億 6百万円	純資産合計 イ 1,799億97百万円
	負債・純資産合計 2,408億 6百万円

資金収支計算書

「一会計年度における資金の流れ」を行政活動区別に示したもの

期首歳計現金残高	21億92百万円
当期資金増減額	△4億84百万円
1 経常的収支 (税込、国庫支出金、職員給与など)	113億16百万円
2 公共資産整備収支 (公共資産整備支出、国県補助金など)	△37億12百万円
3 投資・財務的収支 (投資及び出資など)	△80億87百万円
期首歳計現金残高	ア 17億 9百万円

純資産変動計算書

貸借対照表の「純資産の変動内容」を示したもの

期首純資産残高	1,776億52百万円
当期変動額	23億46百万円
純経常行政コスト	ウ △342億15百万円
1 財源調達 (市税、地方交付税、国県補助金など)	366億41百万円
2 その他 (臨時損益など)	△81百万円
期末純資産残高	イ 1,799億97百万円

財政分析

市民1人当たりの資産、負債、行政サービスの提供状況

(平成28年3月31日現在の住民基本台帳人口 99,616人に基づき算出)

- 資産 241万7千円(対前年度 +8万4千円)
- 負債 61万円(対前年度 +6万円)
- 行政サービスの提供 37万6千円(対前年度 +4万円)

道路や公園などの社会資本の形成に対する世代間の負担率

- これまでの世代の負担率 89.6%(平均値:50%~90%)
- 将来の世代の負担率 24.6%(平均値:15%~40%)

公共施設等の資産老朽化率 ●49.8% (平均値:35%~50%)

基礎的財政収支(プライマリーバランス)は自らの財源で運営できているか

- 18億98百万円の赤字

行政コスト計算書

一年間の「行政サービスのためのコスト」を示したもの

【経常行政コスト】 A	374億42百万円
1 人にかかるコスト (人件費、退職手当引当金繰入等)	55億27百万円
2 物にかかるコスト (物件費、維持補修費、減価償却費等)	122億70百万円
3 移転支的コスト (社会保障給付費、補助金、繰出金等)	173億25百万円
4 その他のコスト (支払利息、不能欠損等)	23億21百万円
【経常収益】 B	32億28百万円
1 使用料・手数料	9億 3百万円
2 分担金・負担金・寄付金	23億25百万円
純経常行政コスト(A-B)	ウ 342億15百万円

基礎的財政収支(プライマリーバランス)に関する情報

収入総額	521億93 百万円
繰越金	△21億92 百万円
地方債発行額	△77億31 百万円
財政調整基金等取崩額	0 百万円
支出総額	△504億84 百万円
地方債元利償還額	63億 7 百万円
財政調整基金等積立額	9 百万円
基礎的財政収支	△18億98 百万円

【4表の相互関係】

- ア** 「歳計現金」が貸借対照表と資金収支計算書で一致
- イ** 「期末純資産残高」が純資産変動計算書と貸借対照表で一致
- ウ** 「純経常行政コスト」が行政コスト計算書と純資産変動計算書で一致

※ 各項目で表示単位未満の数値を四捨五入していることから、表中で合計が一致しない部分があります。

平成27年度 佐久市の財務諸表(連結会計)

貸借対照表 住民サービスを提供するために保有している佐久市の土地、建物や現金等の財産(資産)と、その資産をどのような財源(負債・純資産)で賄ってきたかを対照表示したもの

借方(現在有する資産)	貸方(資産の調達財源)
【資産の部】(将来の世代に残る財産の金額)	【負債の部】(将来の世代が負担する金額)
1 公共資産 (道路、公園、学校、庁舎、病院など) 3,026億83百万円	1 固定負債 (地方債や将来の職員の退職金など) 922億62百万円
2 投資等 (基金、貸付金、出資金など) 305億18百万円	2 流動負債 (地方債翌年度償還額、賞与引当金など) 163億31百万円
3 流動資産 (現金預金、財政調整基金、市税未収金など) 253億11百万円	負債合計 1,085億93百万円
うち、資金 ア 212億60百万円	【純資産の部】(これまでの世代が負担した金額)
4 繰延勘定 1百万円	純資産合計 イ 2,499億19百万円
資産合計 3,585億12百万円	負債・純資産合計 3,585億12百万円

資金収支計算書

「一会計年度における資金の流れ」を行政活動区分別に示したもの

期首歳計現金残高	275億85百万円
当期資金増減額	△63億26百万円
1 経常的収支 (税込、国庫支出金、職員給与など) 88億22百万円	
2 公共資産整備収支 (公共資産整備支出、国庫補助金など) △45億68百万円	
3 投資・財務的収支 (投資及び出資など) △103億39百万円	
期首歳計現金残高	ア 212億60百万円

純資産変動計算書

貸借対照表の「純資産の変動内容」を示したもの

期首純資産残高	2,604億66百万円
当期変動額	△105億47百万円
純経常行政コスト ウ △509億34百万円	
1 財源調達 (市税、地方交付税、国庫補助金など) 478億16百万円	
2 その他 (臨時損益など) △74億28百万円	
期末純資産残高	イ 2,499億19百万円

《連結会計(29会計)》

- ・普通会計(4会計)
- ・国民健康保険特別会計・介護保険特別会計・特別養護老人ホーム特別会計・後期高齢者医療特別会計
- ・介護老人保健施設特別会計・環境エネルギー事業特別会計・工業用地取得造成事業特別会計
- ・国保浅間総合病院事業特別会計・下水道事業特別会計
- ・佐久広域連合・佐久平環境衛生組合・佐久市・軽井沢町清掃施設組合・浅麓環境施設組合
- ・北佐久郡老人福祉施設組合・川西保健衛生施設組合・長野県後期高齢者医療広域連合・南佐久環境衛生組合
- ・小諸市外二市御牧ヶ原水道組合・佐久水道企業団・浅麓水道企業団・佐久市・北佐久郡環境施設組合
- ・佐久市土地開発公社・(一社)佐久市振興公社・佐久ケーブルテレビ(株)・(財)佐久市文化事業団

連結財政分析

市民1人当たりの資産、負債、行政サービスの提供状況

(平成28年3月31日現在の住民基本台帳人口 99,616人に基づき算出)

- 資産 359万9千円(対前年度 +8万3千円)
- 負債 109万円(対前年度 +12万円)
- 行政サービスの提供 86万2千円(対前年度 +3万3千円)

道路や公園などの社会資本の形成に対する世代間の負担率

- これまでの世代の負担率 82.6%(平均値:50%~90%)
- 将来の世代の負担率 27.6%(平均値:15%~40%)

行政コスト計算書

一年間の「行政サービスのためのコスト」を示したもの

【経常行政コスト】 A	858億39百万円
1 人にかかるコスト (人件費、退職手当引当金繰入等) 124億16百万円	
2 物にかかるコスト (物件費、維持補修費、減価償却費等) 220億76百万円	
3 移転支的コスト (社会保障給付費、補助金、繰出金等) 463億53百万円	
4 その他のコスト (支払利息、不能欠損等) 49億94百万円	
【経常収益】 B	349億4百万円
使用料・手数料・利用者負担金など	
純経常行政コスト(A-B)	ウ 509億34百万円

【4表の相互関係】

- ア 「歳計現金」が貸借対照表と資金収支計算書で一致
- イ 「期末純資産残高」が純資産変動計算書と貸借対照表で一致
- ウ 「純経常行政コスト」が行政コスト計算書と純資産変動計算書で一致

※ 各項目で表示単位未満の数値を四捨五入していることから、表中で合計が一致しない部分があります。